

第7期事業計画における自立支援・介護予防・重度化防止に関する成果の検証

市の自立支援・介護予防・重度化防止に向けた各種の取組に対する評価指標について、次の通りの結果となりました。

<基本評価指標>

① 社会参加の促進（自宅以外の居場所の有無の割合）

事業計画策定時におけるアンケート調査において、自宅以外の居場所の有無を捉え、「居場所がある」とされた方の割合が高くなることで、自立支援・介護予防の成果とします

		<目標>	<実績>
第6期 (第7期計画策定調査)	→	第7期 (第8期計画策定調査)	第7期 (第8期計画策定調査)
平成28年度		令和元年度	令和元年度
39.3%		49.0%	43.4%

② 要介護度の維持・改善

要支援1・2の方のうち、介護認定更新の結果、前回の介護度よりも現状維持または改善が図られた方の割合の傾向を捉え、その数値を維持することで、介護予防・重度化防止の成果とします。

		<目標>	<実績>				
第6期	→	第7期			第7期		
H29		H30	R1	R2	H30	R1	R2
90.53%		90%台	90%台	90%台	90.41%	88.08%	90.01%

(各年10月1日時点)

③ 65歳健康寿命の延伸

65歳の方が、何歳まで健康に生活できるかをあらわす「65歳健康寿命（東京保健所長会方式）※」を、65歳の平均余命に近づけることを目標とし、自立支援・介護予防の成果とします。

		<目標>	<実績>
第6期		第7期	第7期
平成27年度			平成30年度
男性 81.35 歳 (15位) 女性 82.48 歳 (16位)		延伸	男性 81.85 歳 (9位) 女性 82.73 歳 (17位)